

特殊詐欺(振り込め詐欺)被害の警戒呼びかけについて

昨今、特殊詐欺(振り込め詐欺)被害は年々増加しており、最近では、病院設置の ATM を利用するよう促す事例も発生しています。

特殊詐欺(振り込め詐欺)の対策を行っている愛知県・名古屋市立緑市民病院の取り組みを別紙のとおり周知致します。

会員の皆様には、院内での注意喚起も含めご参考にしてください。

緑市民病院が行っている取り組み

特殊詐欺被害の警戒呼びかけについて

現状分析

緑警察署のお話によると緑区内において、特殊詐欺、いわゆる「振り込め詐欺」の被害が現状も続いており、昨年には当院に設置してある大手銀行ATMより詐欺被害に遭った方がおられるという状況がある。また、他県では、「病院名」を名乗り「あなたの家族が救急入院になり、大量の輸血が必要なので費用の一部を先に振り込んで欲しい」と言った不審電話による詐欺も確認されている。

目的

地域の病院として「良質な医療の提供」のみならず、犯罪の抑止に寄与し、「地域の安全・安心は地域で守る」という意識を医療関係職員をはじめ患者様や当院を利用されるすべての方々へ「警戒の呼びかけ」を通じて啓発を行い、地域から被害に遭われる方を一人でも減らす。

企画の概要/コンセプト

緑警察署さんに特殊詐欺に遭わない為の注意情報や被害に遭われる方に多い年齢層を教授いただき、注意喚起を記載したラベル或いはチラシを作成し、特定の年齢層以上と思われるの方々へ当院の薬局窓口や会計窓口などで直接口頭にて注意喚起、ラベル或いはチラシの配布を行う。また、毎月当院で行っている市民公開講座で前座を設け、警察官による啓発も行う。

具体的な施策

薬局でお渡しする薬の袋(薬袋)に特殊詐欺啓発内容を印刷したシールを貼り、薬剤師が口頭でも注意を呼びかける。また薬を処方されていない患者様においては会計受付などでも同様にチラシを配布すると同時に口頭での注意喚起を行う。

得られる効果

外来診療にて当院を利用される方々が毎日約300名～450名程いらっしゃり、そのうち投薬処方があり、薬局窓口で薬をお受け取りされる方が毎日約150名程いらっしゃる。

予算

注意喚起用のステッカー代として20,620円(税込)

スケジュール

緑警察署生活安全課より注意喚起用のステッカー(シール)デザイン候補をご供与頂き、病院にてステッカーを10,000枚作成(業者依頼)して当院薬局窓口等で注意喚起を開始

目標

「医療機関」としての役割を超えて、地域で起きている問題解決にも積極的に関わり、各関係機関と連携をしながら、地域になくてはならない「病院」として機能を発揮する。